

## 第1章 計画の趣旨

### 1 計画の目的

アカデミー推進計画は、区民はもとより、区内の大学や企業に通う人、さらには仕事や観光で訪れる人も含め、文京区で暮らし、過ごすあらゆる人たちが、学び、出会い又は交流などの観点から豊かな時間を過ごし、潤いのある生活を送ることができるようにするものである。

### 2 計画の位置づけ

本計画は、「文京区基本構想」に掲げられた、将来都市像である「歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち『文の京』」を、生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光・国際交流分野の側面から実現するための事業計画である。

個別には、スポーツ分野に関しては、スポーツ基本法に基づいて地方自治体が策定するスポーツ推進計画に代わるものである。

### 3 計画の期間

平成28年度から32年度までの5年間

### 4 計画の改定体制

アカデミー推進計画の改定は、学識経験者や公募区民委員、団体関係者、区職員から成るアカデミー推進協議会において、推進計画全体に関わる内容について議論を行いながら進めた。また、これらのメンバーはそれぞれ5つの分科会に所属し、分野別計画についての検討を行った。

### 5 実態調査の実施

区民の日ごろの学習や趣味・スポーツ・文化芸術活動・観光・国際交流に関する実態やニーズなどを把握するため、平成26年10月に20歳以上の区民2,000名を対象として「文京区アカデミー推進計画に関する実態調査」を実施した。

## 第2章 計画の考え方

### 1 計画の基本理念

区内まるごとキャンパスに — 「文<sup>らみ</sup>の京<sup>みやこ</sup>」、豊かな学びと交流を生み出すまち —

文京区の多彩で豊かな文化資源・歴史資源・学習資源を有する環境を、区内で暮らし、過ごす人たちが自分のため、他人のため、地域のために有効に活用し、「いつでも・どこでも・だれでも」が学び、交流することを目指す。そして、それら学びと交流を通じ、多様な人たちがお互いに触発しながら、「文の京」として築いてきた価値を継承し、さらには新しい価値を創造することで新たな「文の京」を区民等とともに生み出すようなまち—「区内まるごとキャンパスに」—を実現する。

このような考え方から、前計画の基本理念「区内まるごとキャンパスに」を引き継ぎつつも、副題を「『文の京』、豊かな学びと交流を生み出すまち」と改定する。

## 2 計画の4つの共通目標

基本理念を実現するための4つの基本目標

### (1) 環境形成: 充実した時間を過ごせる環境形成

学びと交流を支える多様な文化・歴史・学習資源を結びつけることや新たな資源の収集を通じて、学びと交流のための充実した環境をつくる。さらに、それらの環境を有効活用し「いつでも・どこでも・だれでも」という観点で、学びや交流の機会に日常的に触れられるようなまちづくりを進める。

### (2) 人づくり: 豊かな暮らしを支える人材育成

学び、交流するための環境とともに、その環境を活用し、自ら学び、交流しようとする人を増やしていく。そのために、多彩な資源の魅力を高め、広く周知することで、学びや交流の動機づけを行う。そして、自らの学びや交流にとどまらず、地域での学びや交流を支え、更には交流を通じて学びを活かした協働へと展開することを目指す。

### (3) つながりの構築: 活動を通じた多様なつながりの構築

学びと交流の先に、関心をともにする人たちや、地域でともに暮らす人たちのつながりを生み出し、そのつながりのなかで学びや交流が更に展開することを目指す。同時に4つの目標及び基本理念を実現するためにも、様々な主体の連携を図り、学び交流する側、それを支える側双方のつながりを構築することを進める。

### (4) 価値の協創: 資源を活かした新たな価値の創造

学び・交流・協働の中から、文京区の新たな資源が見出され、文京区ならではの価値が生まれることを目指します。人が人をよび、活動が生まれ、その活動から新たな「文の京」となりうる価値が創造されるというプロセスをつくるための取組を進め、新しい価値が更なる学びを生み、更なる交流とつながりへと展開することで、「住んでみたい、住んでよかった、住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりに取り組む。

## 第3章 5つの分野の施策

### 1 生涯学習

学習機会の充実や学んだ成果を活かす機会の提供、まちづくりの展開に向け、区の取り組みを充実させるとともに、大学や企業・団体との連携・協働をより一層進める。

#### 【分野別の目標】

- 1 いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実
- 2 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実
- 3 学びの継続を通じたまちづくり

### 2 スポーツ

スポーツを「する」「観る」の両面で楽しむ機会を提供し、スポーツを通じた仲間づくりや交流を促進するとともに、スポーツ活動を「支える」人材を育成する。

### 【分野別の目標】

- 1 スポーツを身近に感じる機会の拡充
- 2 スポーツをいつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進
- 3 スポーツ活動を支える環境の整備
- 4 スポーツを通じた仲間づくりと交流

## 3 文化芸術

文化芸術に親しむ機会の充実や情報収集・提供、相談対応等について、区内に豊富にある文化的・歴史的資源の活用とともに、区民、大学、企業・団体等と連携・協働を図る。

### 【分野別の目標】

- 1 だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり
- 2 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援
- 3 「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり

## 4 観光

東京都に訪れる観光客が増えている状況を踏まえ、本区特有の資源を活かし、区民や事業者など多様な主体が連携して、その魅力を発信することで、本区のイメージ向上を図る。

### 【分野別の目標】

- 1 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出
- 2 情報の収集・活用による来訪の促進
- 3 持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり

## 5 国際交流

国際交流に関わる人材や団体と協力を図りながら、区民の国際理解を高め、国際交流を活性化するとともに、外国人の支援等を行う仕組みづくりを進める。

### 【分野別の目標】

- 1 国際理解を育む機会づくり
- 2 外国人が快適に過ごせる環境づくり

## 第4章 横断的施策

横断的施策とは、各分野で個別に事業を行う場合でも、共通の考え方や方向性を持って取り組むべきテーマや課題をいう。本計画の推進にあたっては、4つの基本目標に照らし、5つの分野に共通するテーマや課題の中から、「情報の収集・共有・発信」「人材育成」という2つの課題に「東京オリンピック・パラリンピック」を加えた3つを横断的施策とした。

## 1 情報の収集・共有・発信

広報誌やチラシ、ポスターなどを用いた従来の情報発信も継続させつつ、適宜変化する情報環境・メディア環境をとらえ、効果的な情報発信のために適切なメディア活用を図る。一方、情報発信のために本区がすでに把握している様々な資源のほか、区内に潜在する人・団体・活動・場所など、本計画の理念・目的に沿った資源の情報を収集し、それらを区内ならびに区民と共有することを図る。

## 2 協働する人材の育成

「協働・協治」の理念に基づき、学びと交流という活動から、人と人とのつながりを生み出し、コミュニティへと展開するという段階を経ながら、徐々に他者や地域にかかわるようにながし、協働する人づくりを進める。

## 3 東京オリンピック・パラリンピック

「文京区2020年東京オリンピック・パラリンピック取組基本方針」を踏まえながら、計画本来の基本理念や共通目標にかなった、将来にわたる「レガシー（有益な遺産）」を残すことを特に重視する。東京オリンピック・パラリンピックを「きっかけ」のひとつとしてとらえ、長年にわたり区ならびに区民が蓄積してきた価値を活かし、新たな資源や価値を得るための事業を推進する。

# 第5章 計画の進め方

## 1 区民等との連携

区民、地域活動団体、NPO（非営利活動団体）、大学、事業者など新たな公共の担い手と区が互いの役割分担を認識し、「文の京」自治基本条例で自治の理念として掲げている協働・協治の考えに基づき、連携を進めていく。

## 2 計画の推進体制

学識経験者、公募区民委員、団体関係者等で構成する文京区アカデミー推進協議会を設置し、本計画の進行状況の点検・評価を行ない、計画の実効性を高めていく。

## 3 計画の進行管理

PDCAサイクルに基づく進行管理を実施し、計画全体の着実な推進を図るとともに、基本構想実施計画との調整を図りながら目指すべき方向や実効性を確保する。

## ○ 検討経過

協議会全体会開催（5回）	平成27年4月22日～平成28年10月23日
分科会開催（5分野各4回 全20回）	平成27年6月～8月

## ○今後のスケジュール（予定）

平成27年 12月7日	総務区民委員会 素案報告
12月8日～	パブリックコメント（平成28年1月7日まで）
12月13日、15日	区民説明会
平成28年 1月中旬	第6回協議会
1月下旬	アカデミー推進本部
2月	総務区民委員会 最終案報告
3月	アカデミー推進計画改定

## アカデミー推進計画 体系

分野	分野別の目標	基本的な方向
1 生涯学習	1. いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実	(1) 多様な講座や学習機会の提供・充実
		(2) 学習や活動ができる環境の提供
		(3) あらゆる立場の人たちに対応した学習支援の充実
		(4) 地域の学習拠点としての図書館づくり
	2. 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実	(1) 主体的な活動を支える仕組みづくり
		(2) 活動成果披露の場の充実
		(3) 人材育成・活用の推進
	3. 学びの継続を通じたまちづくり	(1) 学びを通じた交流・仲間づくりの推進
		(2) 地域で支える学習環境の充実
(3) 学び合いとまちづくりにつながる学習の促進		

分野	分野別の目標	基本的な方向
2 スポーツ	1. スポーツを身近に感じる機会の拡充	(1) スポーツの楽しさを知る機会の創出
		(2) スポーツ観戦の場と機会の拡充
		(3) プロスポーツ等団体との連携・協力
	2. いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進	(1) スポーツを楽しむ人を増やす
		(2) 多様なニーズに対応するプログラムの提供
		(3) スポーツをともに楽しむ意識の醸成
		(4) 障害者スポーツの普及振興
	3. スポーツ活動を支える環境の整備	(1) 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備
		(2) スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化
		(3) スポーツボランティア等の活動支援
		(4) スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備
	4. スポーツを通じた仲間づくりと交流	(1) スポーツを通じた仲間づくり
		(2) スポーツを通じた交流

分野	分野別の目標	基本的な方向
3 文化芸術	1. だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり	(1) 文化芸術への興味や知識を高める
		(2) だれもが参加しやすい仕組みづくり
		(3) 多様な主体・媒体による情報提供の仕組みづくり
	2. 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援	(1) 観賞・参加・創造・発表の機会と場所の充実
		(2) 文化芸術活動をする人・団体への支援
		(3) 区民人材の育成と活動支援
	3. 「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり	(1) 地域の伝統や歴史に親しむ機会と場所の提供・充実
		(2) 「文の京」伝統文化を守り、伝える人材の育成と活動支援
		(3) 文化資源の再発見と保存・活用の推進
(4) 文化資源に関する情報収集・整理と発信		

分野	分野別の目標	基本的な方向
4 観光	1. 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出	(1) 文京区の魅力や個性につながる新たな資源の発掘
		(2) 「文の京」ならではの魅力向上・新たなストーリーの開
		(3) 区内の回遊性を向上させる誘導の環境づくり
		(4) 文京区の魅力や個性を伝える仕組みづくり
	2. 情報の収集・活用による来訪の促進	(1) 区内外における文京区の観光ニーズの把握
		(2) 文京区の地域ブランド力向上
		(3) 効果的な双方向の観光情報発信
		(4) 活気ある交流の仕組みづくり
	3. 持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり	(1) 観光を通じた区内外のネットワーク環境の構築
		(2) 安全・安心で優しいまちを実現する環境づくりの推進
(3) 観光まちづくりにおけるホスピタリティの醸成		

分野	分野別の目標	基本的な方向
5 国際交流	1. 国際理解を育む機会づくり	(1) 交流の機会の拡充
		(2) 海外都市との交流の活性化
		(3) 国際理解に向けた情報の収集・発信・共有
	2. 外国人が快適に過ごせる環境づくり	(1) 区の資源を活用した、歴史文化等への理解の推進